

試合番号 : 196		試合会場 : 墨田区総合体育館				観客数 : 900					
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:38		試合時間 : 01:38		主審 : 國頭 亮太		副審 : 城 智人			
FC東京		通算 6勝 14敗 ポイント : 21		34 第1セット 36		サントリーサンバーズ		通算 15勝 5敗 ポイント : 40			
監督コメント	まず始めにコロナ禍の難しい状況の中、2日間ホームゲームを無事に開催できたこと、感謝しております。大会運営にご尽力頂いたすべての方々に感謝申し上げます。			0	18 第2セット 25		3	本日も多くのご声援ありがとうございました。FC東京の粘り、プレーに想いが乗り気迫のこもった内容でした。結果的にはセットを取ることが出来ましたが、どちらに転んでもおかしな展開とならないと思います。			
	強豪サントリーサンバーズに対して苦しい場面が多かったのですが、選手たちはこの2日間で頑んだものがあったと思います。来週、再来週と重要な試合が続きますので、しっかりと準備をして臨みたいと思います。今週も応援ありがとうございます。				15 第3セット 25			今週のサントリーサンバーズはこれからのサントリーサンバーズを担っていく選手達です。彼らがこの経験を活かし、考え、行動し、更に成長してくれることを信じています。選手層が厚くなり、監督としては嬉しい悩みですが、チーム力を高めていくことが、リーグを勝ち切るために必ず必要となるでしょう。今日の試合の中でもチームとして、「PLAY HARD」を忘れず日々感謝の気持ちを持ち、謙虚な姿勢で取り組んでいるチームでありたいです。			
	昨日連勝を伸ばし絶対強豪のサントリーサンバーズに対し、今日こそはホームゲームを勝利で飾りたいFC東京の戦い。第1セット、FC東京司令塔の手原は柳町を積極的に使いサントリ-を攻撃した。それに対しサントリ-は昨日同様にムセルスキーを中心に柳田、藤中を使い応戦する。最終リードを奪い主導権を握ったのはサントリ-であった。しかし、終盤に入りFC東京クヴァーレンのブロックで追いつくことに成功した。デュースをはさま長いサイドアウトが続いたが、最後にサントリ-柳田のブロックが決まり、サントリ-がこのセットを手に入れた。				第4セット						
	第2セット、序盤から中盤にかけて一進一退の白熱した展開となった。しかし、サントリ-小川の連続ブロックポイントからFC東京を突き放し、リードを奪い主導権を握った。最後はFC東京のミスを読みサントリ-がこのセットを手に入れた。				第5セット						
	第3セット、序盤サントリ-小川のブロック、アタックが決まりリードを奪った。その後もリードを広げ、最終有利に試合を運んだ。最後はサントリ-柳田のブロックが決まり、勝利を手に入れた。										
試合番号 : 197		試合会場 : このはなアリーナ (草薙総合運動場体育館)				観客数 : 500					
開始時間 : 12:00		終了時間 : 13:20		試合時間 : 01:20		主審 : 原 啓之		副審 : 浅井 唯由			
東レアローズ		通算 15勝 5敗 ポイント : 47		25 第1セット 21		VC長野トライデンツ		通算 1勝 19敗 ポイント : 3			
監督コメント	コロナ感染拡大の中、ホームゲームを開催するにあたり、ご尽力くださった皆さん、本当にありがとうございました。新人2人の活躍により、勝利することが出来ました。来週からは、上位チーム対決になりますので、しっかりと準備して臨んでいきたいと思っています。2日間たくさんのお声援ありがとうございました。			3	25 第2セット 20		0	このコロナ禍の中、大会の開催にご協力いただいている全ての関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。昨日の試合を分析し、各種課題を修正し本日の試合に臨みました。修正した課題の成果が見られる場面もありましたが、ホームの東レの勢いを抑えるまで行きませんでした。今週出た課題を修正し、次週の試合で勝利できる標準準備して臨みます。本日は応援ありがとうございます。来週も応援よろしくお願ひします。			
	昨日に続き、東レアローズがVC長野トライデンツをホーム静岡に招いての一戦。第1セット、東レは中盤から富田のスパイクやサーブで点差を広げる。対するVC長野は終盤で三輪のアタック、池田(幸)のブロックで追い上げるが、東レはパダルを中心とした攻撃でリードを許さず、このセットを取りきる。				25 第3セット 20						
	第2セット、VC長野はリヴァンのアタックやブロックで得点を重ねる。東レはパダル、富田のアタックで中盤までリードを保つ。東レは最後まで山口、米山の安定したサーブレシーブを起點にサイドアウトを積み重ね、このセットも奪った。				第4セット						
	第3セット、互いに好レシーブを連発し、譲らない展開となる。東レは中盤でパダル、難波のブロック、米山のサービスエースで連続得点をし、18-14とする。VC長野は伊藤が気迫のこもったブロックを見せるも、東レは富田の効果的なフェイント等で得点を重ね、セットを連取し、ホームで連勝した。										
	試合番号 : 199		試合会場 : グローバルリゾート総合スポーツセンターサンチェリー					観客数 : 780			
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:36		試合時間 : 01:36		主審 : 本間 明		副審 : 戸川 太輔			
JTサンダーズ広島		通算 8勝 10敗 ポイント : 26		22 第1セット 25		ジェイテクトSTINGS		通算 11勝 9敗 ポイント : 32			
監督コメント	本日も沢山のご声援を頂き、ありがとうございました。廿日市のホームゲームで皆様以上に勝つ姿をお見せできなかった事を残念に思います。2日間出てきた修正点を来週に向け、全員で取り組みたいと思います。これからもご声援よろしくお願ひします。			0	23 第2セット 25		3	昨日に引き続き、いいバレーボールを展開してきました。この勢いを続けられればと思います。いつも応援ありがとうございます。引き続きよろしくお願ひします。			
	第1セット、JTサンダーズ広島のエドガー、小野寺が迫力あるアタックを決めるのに対して、ジェイテクトSTINGSも宮浦のアタックや村山のブロックで中盤以降まで一進一退の攻防を繰り返した。ここからJT広島がエドガーのアタックと小野寺のブロックで先にリードするが、すぐにジェイテクトがフェリベのアタックと村山のブロックで巻き返して、さらに宮浦、藤中のアタックとフェリベのサービスエースなどで一気に4連続得点で逆転して、最後はフェリベが強烈なアタックを決めてセットを先取した。				19 第3セット 25						
	第2セット、JT広島のエドガー、坂下が強烈なアタックを決めるのに対して、ジェイテクトもフェリベ、宮浦の角度あるアタックで終盤まで一進一退の攻防を繰り返した。ここからJT広島は坂下、山本や途中出場熊倉のアタック、ジェイテクトはフェリベ、宮浦のアタックでサイドアウトを繰り返したが、最後は宮浦が強烈なアタックを決めて連取した。				第4セット						
	第3セット、第2セットの勢いそのままジェイテクトがフェリベ、宮浦、村山のアタックでリードを徐々に広げた。後がないJT広島はエドガー、坂下、新井のアタックで粘りを見せたが、ジェイテクトのフェリベが強烈なアタックで引きはなして、終盤も宮浦、村山のアタックと久保山のブロックで3連続得点を挙げて、勝利した。										
	試合番号 : 200		試合会場 : 久留米アリーナ (福岡県立久留米総合スポーツセンター体育館)					観客数 : 422			
開始時間 : 15:00		終了時間 : 16:29		試合時間 : 01:29		主審 : 山本 晋五		副審 : 木内 誠二			
大分三好ヴァイセアドラー		通算 4勝 16敗 ポイント : 11		21 第1セット 25		堺ブレイザーズ		通算 15勝 5敗 ポイント : 44			
監督コメント	今日はお忙しい中、応援ありがとうございます。第1セットから自分たちの展開に持ち込むことができず、第2セットは51のローテーション時に相手に点数を重ねられ、また自チームのサーブミスとバグナスが相手サーブに阻まれたことで、苦しい展開になってしまいました。自分たちの課題をチーム全体が理解し、次の試合に向けて準備をしていきたいと思っています。今後とも、大分三好ヴァイセアドラーの応援、よろしくお願ひします。			0	22 第2セット 25		3	今日はサーブで試合の流れをつかむことができ、2連勝を勝ち取ることができました。まだリーグは半ばですが、引き続き皆様の応援をよろしくお願ひいたします。			
	ホームでの連敗を避けた19位・大分三好ヴァイセアドラーと、連勝して首位を握った2位・堺ブレイザーズとの対戦。サーブミスが続いて波に乗れない大分三好に対して、高野のサイド攻撃と松本の速攻でブレイクを重ねていった堺が、終盤樋口の攻撃も加えて逃げ切り、第1セットを先取した。				19 第3セット 25						
	第2セット、バグナスのブロックによる2度のブレイクで大分三好が先行する展開となる。堺は樋口とバーノンのバックアタックによる連続ブレイクで追いつき、さらに高野のサービス時に、サービスエースを含む6連続ブレイクで一気にリードを広げる。大分三好も山田のアタックなどで粘るが、堺が振り切ってそのままセットを連取した。				第4セット						
	後のなくなった大分は、第3セット途中から出場した古賀の活躍で反撃を見せるが、勢いに乗る堺はミドルブロッカーを巧みに使った攻撃で相手ブロックに的を絞らせず、そのままストレートで勝利した。				第5セット						
	第1セットにサーブで堺の攻撃を崩さず波に乗れなかった大分三好に対して、最後まで安定した試合運びで堺が連勝し、首位を狙える位置をキープした。										

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。